

乙號

基隆水道工事費

總額

金參拾壹萬圓

款事 業 費

金參拾壹萬圓

項 基隆水道工事費

年額

明治三十二年度

金貳拾萬參千圓

款事 業 費

金貳拾萬參千圓

項 基隆水道工事費

明治三十三年度

金拾萬七千圓

款事 業 費

0474

金拾萬七千圓

項 基隆水道工事費

北島燈臺建設費

總額

金貳拾萬參千八百拾參圓

款事 業 費

金貳拾萬參千八百拾參圓

項 北島燈臺建設費

年額

明治三十二年度

金七萬九千拾四圓

款事 業 費

金七萬九千拾四圓

項 北島燈臺建設費

明治三十三年度

金拾萬六千六百六拾七圓

款事 業 費

金拾萬六千六百六拾七圓

項 北島燈臺建設費

明治三十四年度

金壹萬八千百參拾貳圓

款事 業 費

金壹萬八千百參拾貳圓

項 北島燈臺建設費

臺灣神社新營

總額

金貳拾九萬圓

款事 業 費

金貳拾九萬圓

項 臺灣神社新營

年額

明治三十二年度

金拾參萬六千圓

款事 業 費

金拾參萬六千圓

項 臺灣神社新營

明治三十三年度

金拾五萬四千圓

款事業費

金拾五萬四千圓

項臺灣神社新營

總督官舎新營

總額

金貳拾四萬圓

款事業費

金貳拾四萬圓

項總督官舎新營

年額

明治三十二年度

金九萬六千圓

款事業費

金九萬六千圓

項總督官舎新營

明治三十三年度

金拾四萬四千圓

款事業費

0477

金拾四萬四千圓

項 總督官舎新營

臺灣鐵道建設及改良費

總額

金貳千八百八拾萬圓

款 特別事業費

金貳千八百八拾萬圓

項 臺灣鐵道建設及改良費

年額

明治三十二年度

金貳百萬圓

款 特別事業費

金貳百萬圓

項 臺灣鐵道建設及改良費

明治三十三年度

金貳百五拾萬圓

款 特別事業費

金貳百五拾萬圓

項 臺灣鐵道建設及改良費

0478

明治三十四年度

金貳百五十萬圓

款特別事業費

金貳百五十萬圓

項臺灣鐵道建設及改良費

明治三十五年度

金貳百五十萬圓

款特別事業費

金貳百五十萬圓

項臺灣鐵道建設及改良費

明治三十六年度

金貳百五十萬圓

款特別事業費

金貳百五十萬圓

項臺灣鐵道建設及改良費

明治三十七年度

金參百萬圓

款特別事業費

金參百萬圓

項臺灣鐵道建設及改良費

明治三十八年度

金參百五拾萬圓

款特別事業費

金參百五拾萬圓

項臺灣鐵道建設及改良費

明治三十九年度

金參百五拾萬圓

款特別事業費

金參百五拾萬圓

項臺灣鐵道建設及改良費

明治四十年度

金參百五拾萬圓

款特別事業費

金參百五拾萬圓

項臺灣鐵道建設及改良費

明治四十一年度

金參百參拾萬圓

款特別事業費

金參百參拾萬圓

項臺灣鐵道建設及改良費

基隆築港費

總額

金貳百萬圓

金貳百萬圓

年額

明治三十二年度

金參拾五萬圓

金參拾五萬圓

明治三十三年度

金八拾萬圓

金八拾萬圓

明治三十四年度

款特別事業費

項基隆築港費

款特別事業費

項基隆築港費

款特別事業費

項基隆築港費

金八拾萬圓

款特別事業費

金八拾萬圓

項基隆築港費

明治三十五年度

金五萬圓

款特別事業費

金五萬圓

項基隆築港費

臨時臺灣土地調查費

總額

金參百萬圓

款特別事業費

金參百萬圓

項臨時臺灣土地調查費

年額

明治三十二年度

金五拾萬圓

款特別事業費

金五拾萬圓

項 臨時臺灣土地調査費

明治三十三年度

金六拾萬圓

款 特別事業費

金六拾萬圓

項 臨時臺灣土地調査費

明治三十四年度

金六拾萬圓

款 特別事業費

金六拾萬圓

項 臨時臺灣土地調査費

明治三十五年度

金百萬圓

款 特別事業費

金百萬圓

項 臨時臺灣土地調査費

明治三十六年度

金參拾萬圓

款 特別事業費

0483

金參拾萬圓

監獄署新營

總額

金八拾萬圓

金八拾萬圓

年額

明治三十二年度

金拾五萬圓

金拾五萬圓

明治三十三年度

金參拾萬圓

金參拾萬圓

項 臨時臺灣土地調查費

款 特別事業費

項 監獄署新營

款 特別事業費

項 監獄署新營

款 特別事業費

項 監獄署新營

0484

0485

明治三十四年度

金貳拾萬圓

款特別事業費

金貳拾萬圓

項監獄署新營

明治三十五年度

金拾五萬圓

款特別事業費

金拾五萬圓

項監獄署新營

丙 號

公布ノ當時ハ繼續費ナキヲ以テ乙號トナシアルモ他ニ乙號トシテ公布ノ繼續費アルヲ以テ丙號トシテ茲ニ類聚ス

大藏省所管特別資金歳出第一款第一項

歳入臨時部繰入

大藏省所管事業公債及鐵道公債金第一款第一項

公債募集金支出

0487

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ

明治三十二年二月二十三日官報

第一

在露國公使館ニ於テ傭外國人一名滿期ニ付更ニ傭繼明治三十二年四月一日ヨリ向五箇年間ノ期限ヲ以テ俸給年額千貳百圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第二

在墨西哥國公使館ニ於テ傭外國人一名滿期ニ付更ニ傭繼明治三十二年四月一日ヨリ向五箇年間ノ期限ヲ以テ俸給年額千貳百圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第三

福州ニ領事館ヲ新設スルガ爲メ家屋ノ借入ヲ要シ約定ヲ爲シタル日ヨリ向五箇年間ノ期限ヲ以テ借家料年額千貳百圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第四

平壤ニ領事館分館ヲ新設スルガ爲メ家屋ノ借入ヲ要シ約定ヲ爲シタル日ヨリ向五箇年間ノ

期限ヲ以テ借家料年額六百圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第五

郡山ニ領事館分館ヲ新設スルカ爲メ家屋ノ借入ヲ要シ約定ヲ爲シタル日ヨリ向五箇年間ノ期限ヲ以テ借家料年額六百圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第六

馬山ニ領事館分館ヲ新設スルカ爲メ家屋ノ借入ヲ要シ約定ヲ爲シタル日ヨリ向五箇年間ノ期限ヲ以テ借家料年額六百圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第七

城津ニ領事館分館ヲ新設スルカ爲メ家屋ノ借入ヲ要シ約定ヲ爲シタル日ヨリ向五箇年間ノ期限ヲ以テ借家料年額六百圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第八

在香港領事館ニ於テ現在借入ノ家屋狹隘ナルヲ以テ借入満期後新ニ借入ヲ要シ明治三十三

年七月一日ヨリ向五箇年間ノ期限ヲ以テ借家料年額參千圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第九

神奈川縣ニ於テ傭外國人一名(現在契約俸給月額貳百貳拾圓)ニ明治三十二年四月一日ヨリ俸給月額參拾圓ヲ増給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十

東京府小笠原島航海費補助トシテ明治三十二年度ニ於テ壹萬千圓明治三十三年度ヨリ向四箇年間毎年壹萬七千貳百圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十一

東京府小笠原島各離島航海費補助トシテ明治三十二年度ヨリ向五箇年間毎年九百圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十二

島根縣隱岐國航海費補助トシテ明治三十二年度ヨリ向五箇年間毎年六千圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十三

内務省ニ於テ警察監獄官練習所教師兼警察監獄事務顧問トシテ外國人三名ヲ傭入各明治三十二年四月ヨリ向三箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額六百圓宅舍料月額五拾圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費六百五拾圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十四

神戸市水道費ニ對スル從來ノ補助ノ外更ニ補助トシテ明治三十四年度ヨリ同三十八年度マテ毎年拾萬圓同三十九年度ニ於テ拾八萬圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十五

東京市水道費ニ對スル從來ノ補助ノ外更ニ補助トシテ明治三十九年度ヨリ同四十一年度マテ毎年拾七萬圓同四十二年度ニ於テ拾八萬貳千圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十六

陸軍大學校ニ於テ外國人教師一名ヲ傭入明治三十二年四月一日ヨリ向三箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額五百圓手當月額百圓馬飼料月額拾六圓五拾錢ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費千圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第十七

陸軍軍事費ニ係ル糧食費六拾七萬七千圓馬匹費貳拾六萬圓輸送費九萬六千六百圓憲兵費ニ係ル糧食費七萬四千圓馬匹費貳萬六千圓屯田兵費ニ係ル糧食費六萬五千圓マテヲ限リ明治三十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキノ契約ヲ明治三十二年度ニ於テ結フコトヲ得

第十八

海軍機關學校ニ於テ傭外國人教師二名傭繼ニ付左ノ契約ヲ結フコトヲ得

一一名(現在契約俸給月額五百圓)ハ明治三十二年四月一日ヨリ俸給月額貳百圓ヲ増加シ現在ノ契約期

限(明治三十三年三月三十一日)ヲ明治三十五年三月三十一日マテ延長シ且滿期解傭ノ際歸國旅費千貳

百貳拾四圓貳拾四錢ヲ支給スルノ外一時手當千五拾圓ヲ支給シ又傭滿期前ニ解傭ノ必要アルトキハ八箇月以内ノ月俸ニ相當スル金額ヲ一時手當トシテ支給ス

一一名ハ明治三十二年四月一日ヨリ同三十五年三月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額貳百圓ヲ支給ス

第十九

海軍大學校ニ於テ傭外國人教師一名滿期ニ付更ニ傭繼外ニ一名新ニ傭入左ノ契約ヲ結フコトヲ得

一一名ハ明治三十二年四月一日ヨリ同三十五年三月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額貳百圓ヲ支給ス

一一名ハ約定ヲ爲シタル日ヨリ滿三箇年間ノ期限ヲ以テ俸給月額千貳百五拾圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費千四百拾五圓ヲ支給ス

第二十

海軍兵學校ニ於テ傭外國人教師一名滿期ニ付更ニ傭繼外ニ一名新ニ傭入左ノ契約ヲ結フコトヲ得

一名ハ明治三十二年四月一日ヨリ同三十五年三月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額貳百貳拾圓ヲ支給ス

一名ハ明治三十二年四月一日ヨリ同三十五年三月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額貳百圓ヲ支給ス

第二十一

海軍軍事費ニ係ル糧食費五萬圓被服費七萬五千圓兵器彈藥及水雷費拾萬圓造船及修理費拾參萬圓艦營費六拾萬圓マテヲ限り明治三十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキノ契約ヲ明治三十二年度ニ於テ結フコトヲ得

第二十二

日本體育會補助トシテ明治三十二年度ヨリ向五箇年間毎年壹萬圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フ

コトヲ得

三二〇

第二十三

農事試験場ニ於テ外國人二名ヲ傭入各明治三十二年四月一日ヨリ明治三十五年三月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額五百圓ヲ支給シ且滿期解傭歸國ノ際手當トシテ各六百圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第二十四

電信線保守工事ニ要スル材料購入ノ爲メ遞信事業費ニ於テ拾萬圓マテヲ限り明治三十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキノ契約ヲ明治三十二年度ニ於テ結フコトヲ得

第二十五

東京大阪兩砲兵工廠及千住製絨所ニ於テ特別會計ノ經濟ニ係ル製造用材料及機械購買ノ爲メ東京砲兵工廠ニ於テ作場費拾萬圓材料素品購買費貳拾萬圓大阪砲兵工廠ニ於テ作場費拾萬圓材料素品購買費貳拾五萬圓千住製絨所ニ於テ材料素品購買費貳拾萬圓マテヲ限り明

治三十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキノ契約ヲ明治三十二年度ニ於テ結フコトヲ得

第二十六

横須賀、吳、佐世保ノ三鎮守府ニ於テ特別會計ノ經濟ニ係ル造船事業ニ使用スル材料購買ノ爲メ横須賀鎮守府ニ於テ貳拾壹萬圓吳鎮守府ニ於テ貳拾五萬圓佐世保鎮守府ニ於テ拾萬圓マテヲ限り明治三十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキノ契約ヲ明治三十二年度ニ於テ結フコトヲ得

第二十七

東京帝國大學ニ於テ醫科大學附屬第二醫院敷地借料(現在契約借地
料年額參百圓)ノ増額ヲ要シ明治三十二年以降年額九拾圓ヲ増加スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第二十八

東京帝國大學ニ於テ傭外國人教師七名滿期ニ付更ニ傭繼又ハ代員ヲ傭入左ノ契約ヲ結フコトヲ得

一二名ハ各明治三十二年七月十一日以後契約ニ定メタル日ヨリ三箇年間ノ期限ヲ以テ俸給月額六百貳拾五圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費九百七拾五圓ヲ支給ス

一二名ハ明治三十二年八月一日ヨリ同三十五年七月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額六百貳拾五圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費九百七拾五圓ヲ支給ス

一二名ハ各明治三十二年八月一日以後契約ニ定メタル日ヨリ三箇年間ノ期限ヲ以テ俸給月額五百圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費九百七拾五圓ヲ支給ス

一二名ハ明治三十二年八月一日ヨリ同三十五年七月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額四百四拾圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費九百七拾五圓ヲ支給ス

一二名ハ明治三十二年八月一日ヨリ同三十五年七月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額四百七拾圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費九百七拾五圓ヲ支給ス

以上七名ハ各家具ヲ備ヘサル家屋一字ヲ貸與シ政府ノ都合ニ依リ家屋ヲ貸付セサルトキハ宿料トシテ月額四拾圓ヲ支給ス

以上七名ハ各家具ヲ備ヘサル家屋一字ヲ貸與シ政府ノ都合ニ依リ家屋ヲ貸付セサルトキハ宿料トシテ月額四拾圓ヲ支給ス

第二十九

高等師範學校ニ於テ傭外國人教師一名傭入明治三十二年九月一日以後契約ニ定メタル日ヨリ三箇年間ノ期限ヲ以テ俸給月額四百圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費九百圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第三十

高等商業學校ニ於テ傭外國人教師三名滿期ニ付更ニ傭繼又ハ代員ヲ傭入左ノ契約ヲ結フコトヲ得

一一名ハ明治三十二年四月一日ヨリ同三十四年三月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額貳百圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費七百圓ヲ支給ス

一一名ハ明治三十二年八月一日ヨリ同三十四年七月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額百五十圓ヲ支給ス

一一名ハ明治三十二年八月一日ヨリ同三十四年七月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額

八拾圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費百六拾圓ヲ支給ス

第三十一

第二高等學校ニ於テ傭外國人教師二名滿期ニ付更ニ代員ヲ傭入各明治三十二年九月一日ヨリ同三十五年八月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額貳百五拾圓宿料月額參拾圓且滿期解傭ノ際歸國旅費百五拾圓ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第三十二

第三高等學校ニ於テ傭外國人教師一名滿期ニ付更ニ傭繼外ニ二名新ニ傭入左ノ契約ヲ結フコトヲ得

一二名ハ各明治三十二年八月一日ヨリ同三十四年七月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額貳百五拾圓宿料月額參拾圓ヲ支給ス

一名ハ明治三十二年八月一日ヨリ同三十四年七月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額貳百五拾圓ヲ支給ス

第三十三

山口高等學校ニ於テ傭外國人教師一名滿期ニ付代員ヲ傭入又傭外國人教師一名ニ俸給月額ヲ増加シ左ノ契約ヲ結フコトヲ得

一名ハ明治三十二年七月二十二日ヨリ同三十五年七月二十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額貳百五十圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費五百圓ヲ支給ス

一名(現在契約俸給月額貳百圓)ハ明治三十二年四月一日ヨリ同三十四年八月三十一日マテ俸給月額五十圓ヲ増給ス

第三十四

官設鐵道用品資金特別會計ニ於テ官設鐵道用品費五百六拾八萬圓マテヲ限り明治三十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキノ契約ヲ明治三十二年度ニ於テ結フコトヲ得

明治二十一年十二月二十八日官報 (追第一號)

陸軍軍事費ニ係ル糧食費四拾萬千百圓馬匹費拾七萬四千圓輸送費九萬六千六百圓憲兵費ニ

係ル糧食費七萬千圓馬匹費貳萬參千貳百圓屯田兵費ニ係ル糧食費五萬六千圓移住費壹萬五千七百八拾五圓五拾錢マテヲ限リ明治三十二年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ明治三十一年度ニ於テ結フコトヲ得

明治三十二年三月三日官報（追第二號）

第一

若松築港株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ明治三十二年度ヨリ同三十六年度迄毎年拾萬圓ヲ補助スルノ契約ヲ結フコトヲ得

- 一 現今築造中ニ係ル防波堤ハ豫定ノ設計通總延長千百十五間ニ延長竣工スヘシ
- 一 外海ヨリ豫定ノ設計ニ從ヒ其航路ヲ九州鐵道株式會社棧橋ニ沿ヒ製鐵所ニ於テ浚渫スル航路即チ製鐵所荷揚場南端ヨリ千七百九十間ヲ距ツル部分迄干潮ノ水深二十尺ニ浚渫シ且將來此水深ヲ維持セシムヘシ

一前二項ノ工事ハ明治三十六年中竣功スヘシ

豫定ノ通工事ヲ實施セサルトキハ補助金ヲ中止ス

期限ヲ過キ工事竣功ノ見込ナキトキハ補助金ヲ廢止シ既給ノ補助金ハ直チニ之ヲ還付

セシム

一將來若松港ヲ通過スヘキ官船及製鐵所所用ノ貨物ヲ搭載シタル船舶ニ對シテハ其船舶ト貨物トヲ間ハス入港料其他何等ノ名義ヲ以テスルモ通過料等ヲ徵收スルコトヲ得ス

第二

製鐵所ニ於テ外國人十四名ヲ傭入左ノ契約ヲ結フコトヲ得

一二名ハ創立事業完成ノ日ヨリ二箇年間ノ期限ヲ以テ各俸給年額壹萬圓ヲ支給シ且滿期

解傭ノ際歸國旅費並報酬トシテ參千圓ヲ支給ス

一十二名ハ同上ノ期限ヲ以テ各俸給年額四千圓ヲ支給シ且滿期解傭ノ際歸國旅費並報酬

トシテ參千圓ヲ支給ス

明治三十二年三月二十二日官報（追第三號）

三二八

第一

在漢口領事館ニ充用スヘキ家屋明治三十二年四月一日ヨリ向五箇年間ノ期限ヲ以テ借家料年額貳千四百圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第二

在「マニラ」領事館ニ於テ借入ノ現在家屋ニ對シ更ニ明治三十二年四月一日ヨリ向五箇年間借家料年額貳千四百圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第三

在「タコマ」領事館管轄「シヤトル」領事館分館ニ充用スヘキ家屋明治三十二年四月一日ヨリ向五箇年間ノ期限ヲ以テ借家料年額米金百八拾弗ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第四

文部省傭外國人一名ニ明治三十二年八月以降終身恩給年金千八百圓ヲ支給スルコトヲ得

0503

第五

遞信省備外國人一名ニ明治三十二年四月以降終身恩給年金千八百圓ヲ支給スルコトヲ得

第六

濠洲線航海ニ對スル既定補助金額(明治三十二年度同三十三年度)ヲ改メ明治三十二年度及同三十三年度ニ於テ各五拾貳萬五千六百五拾七圓六拾錢ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第七

楊子江航通補助既定額(明治三十九年度マテ毎年拾四萬九千五百四拾七圓)ヲ改メ明治三十三年度ヨリ同三十九年度マテ毎年貳拾貳萬八千七百五拾參圓六拾錢同四十年年度ニ於テ拾七萬千五百六拾五圓貳拾錢ヲ交付スルノ契約ヲ結フコトヲ得

第八

東京帝國大學ニ於テ備外國人一名(現在契約俸給月額五百圓)明治三十二年八月一日ヨリ俸給月額貳百圓ヲ増給シ契約期限(現在契約期限明治三十四年七月三十一日)ヲ明治三十五年七月三十一日マテ延長シ其他現

在ノ條件(現在契約條件家具ヲ備ヘサル家屋一字ヲ貸與シ政府ノ都合ニ依リ家屋ヲ貸與セサルトキハ宿料トシテ月額四拾圓ヲ支給シ滿期解備ノ際歸國旅費九百七拾五圓ヲ支給ス)
 ヲ以テ契約ヲ結フコトヲ得

明治二十二年三月二十二日官報 (追第四號)

政府ハ明治三十一年各縣水害土木費補助ノ財源ニ充ルカ爲メ左ノ條件ニ依リ金額四百萬圓ヲ限リ一時借入ヲ爲スノ契約ヲ結フコトヲ得

一 利子一箇年百分ノ五以下

一 借入期限ハ借入ヲ爲シタル日ヨリ向一箇年間

明治二十二年三月二十二日 (追第五號)

歐洲線「シヤトル」線及桑港線ノ定期航海補助トシテ左ノ條件ニヨリ明治三十三年一月ヨリ同四十二年十二月マテ十箇年間毎年歐洲線ニ對シ貳百六拾七萬參千八百九拾四圓拾八錢四

厘「シヤトル」線ニ對シ六拾五萬四千參拾圓桑港線ニ對シ百壹萬參千八百八拾圓以內ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一歐洲線ハ總噸數六千噸以上最快速力一時間十四海里以上ノモノ十二艘ヲ備フルコト

香港桑港線ハ總噸數六千噸以上最快速力一時間十七海里以上ノモノ三艘ヲ備フル

コト

香港「シヤトル」線ハ總噸數六千噸以上最快速力一時間十五海里以上ノモノ三艘ヲ備フル

ルコト

一歐洲線ハ毎二週一回一箇年二十六航海トス

香港桑港線ハ毎四週一回以上一箇年通シテ十四航海トス

香港「シヤトル」線ハ毎四週一回一箇年十三航海トス

一右ノ航路ニ使用スヘキ船舶ハ契約實施ノ日ニ於ケル船齡四年未滿ニシテ造船規程ニ合

格シ且當該契約者ノ專屬ニシテ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタルモノニ限ルコト

一 以上ノ航路ニヨリ遞送スヘキ郵便物ハ無賃タルヘキコト

一 契約者ハ本航路ニ於テモ航海獎勵法第七條ノ義務ヲ負擔シ且各船舶ニハ遞信大臣ノ命令ニ從ヒ契約者ノ費用ヲ以テ航海修業生五名以内ヲ乗組マシメ同大臣ノ定ムル手當ヲ支給スヘキコト

政府ハ非常事變ノ際ニ於テ本航路ノ船舶ヲ使用スルコトヲ得但此場合ニハ相當ノ使用料ヲ支給スルコト

一 補助金ハ現行航海獎勵法ノ規定ニ照シ各使用船舶ノ當然受クヘキ金額(船齡五年未滿ノ率ニ依ル)ヲ十年通シテ支給スルコト但契約ニ規定シタル各地ニ航海セス隨テ航海里數ヲ減縮シタルトキハ其里數ニ應シ補助金ヲ減スルコト

一 契約者ノ都合ニヨリ代船ヲ使用スルトキハ航海獎勵法ノ規定ニ合格シタル船舶ニ限り相當船舶ノ受クヘキ金額以内ニ於テ相當ノ金額ヲ支給スルコト

一 航海度數ヲ缺キタルトキ、相當船舶ヲ使用セサルトキ、契約期限中ニ船舶ノ修繕又ハ補

充ヲ爲サ、ルトキ、故ナク航海時間ヲ遅延シタルトキ、起點終點ノ兩港ニ於ケル發著日時ヲ變更シタルトキ、郵便物揚卸ノ契約ニ違背シ又ハ寄港地ヲ省キタルトキ及其他ノ規定ニ背キタルトキハ一日又ハ十二時間未滿若ハ一回毎ニ所爲ノ輕重ニヨリ相當ノ金額ヲ徵收スルコト

一 契約者義務ヲ他人ニ移轉シ若ハ船舶ヲ賣讓シ又ハ一年三回以上航海ヲ停止シタルトキハ契約ヲ解除シ航海補助金ノ交付ヲ停止シ當該年度内已ニ執行シタル航海ニ對スル補助金ヲ還納セシメ且豫テ差出サシメ置ク所ノ各線路補助金年額ノ約一割ニ相當スル保證金ヲ沒收スルコト

明治三十二年三月二十二日官報（追第六號）

第一

鹿兒島縣大島郡各離島航海費補助トシテ左ノ條件ニ依リ明治三十二年度ニ於テ壹萬貳千圓

明治三十三年度ヨリ向四箇年間毎年壹萬八千圓ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一航海ニ充用スル船舶ハ保險付登簿噸數二百五十噸以上ノ汽船タルヘシ

一大島各離島間ノ航海ハ一箇月二回一箇年二十四回トス

一乗客及積荷ノ運賃ハ政府ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムルモノトス

一契約者ニ於テ事故ニ依リ代船ヲ使用スルトキハ其船舶ハ保險付登簿噸數二百五十噸以上ノ汽船タルヘキモノトス

一避クヘカラサル事故ノ爲メ政府ノ認可ヲ得テ航海ノ回數ヲ減シタルトキハ翌月ニ於テ回數ヲ償ハシムルカ又ハ一回毎ニ補助年額ノ二十四分ノ一ヲ減少スルコトアルヘシ

一契約有効期限内ト雖モ政府ノ都合ニ依リ無償ニテ契約ヲ解除スルコトアルヘシ但此場合ニ於テハ一箇月以前ニ其旨契約者ニ通知スルモノトス

一契約者カ契約事項ニ違背シタルトキハ其所爲ノ輕重ニ依リ補助金ヲ停止シ又ハ廢止スルコトアルヘシ但補助金ヲ廢止スル場合ニハ其年度ニ於ケル既給ノ補助金ハ直ニ之ヲ還付

セシムルモノトス

第二

宮崎官神殿其他改築及保存費補助トシテ左ノ條件ニ依リ明治三十二年度ヨリ向七箇年間毎年壹萬五千圓ヲ限り支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一補助金ハ大祭會ニ於テ豫メ政府ニ提出シタル設計豫算ニ依リ負擔スヘキ神社建築費及保存費ノ支出額ニ割合毎年交付スルモノトス

一大祭會ニ於テ支出シタル金額豫算ニ比シ減少シタルトキハ政府補助金モ其割合ニ應シ減額スルモノトス

一大祭會ニ於テ豫定ノ設計通工事ヲ施行セサルカ又ハ之ヲ廢止スルトキハ補助金ハ之ヲ停止シ又ハ廢止スルモノトス但已ムヲ得サル事情ニ依リ政府ノ認可ヲ得テ工事設計ヲ變更シタルトキハ補助金ハ既定ノ豫算額内ニ於テ別ニ詮議スルコトアルヘシ

一大祭會ハ補助金下付期限中工事竣會計上ニ關シ政府ノ監督ヲ受クルモノトス

香椎宮社内建物復舊改築及保存費補助トシテ左ノ條件ニ依リ明治三十二年度ヨリ向五箇年間毎年八千圓ヲ限り支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一補助金ハ神社ニ於テ豫メ政府ニ提出シタル設計豫算ニ依リ負擔スヘキ神社建築費及保存費ノ支出額ニ割合毎年交附スルモノトス

一神社ニ於テ支出シタル金額豫算ニ比シ減少シタルトキハ政府補助金モ其割合ニ應シ減額スルモノトス

一神社ニ於テ豫定ノ設計通工事ヲ施行セサルカ又ハ之ヲ廢止スルトキハ補助金ハ之ヲ停止シ又ハ廢止スルモノトス但已ムヲ得サル事情ニ依リ政府ノ認可ヲ得テ工事設計ヲ變更シタルトキハ補助金ハ既定ノ豫算額内ニ於テ別ニ詮議スルコトアルヘシ

明治三十二年三月二十二日官報 (追第七號)

0512

海軍省備外國人一名明治三十二年四月以降終身恩給年金參百圓ヲ支給スルコトヲ得

三二七